

このまま参加で本当に大丈夫？
私たちの暮らし・こどもの未来

食・暮らし・いのちを脅かす

TPP交渉からの即時撤退

を求める運動を展開しています

7月に日本が交渉参加したTPP(環太平洋連携協定)は、極端な秘密協定。
国民生活に大きな影響を与えるにも関わらず交渉内容は開示されておりません。
聖域が守られる保証がないTPP交渉からはすぐに撤退すべきです。

「平成の
不平等条約」は
被災地の希望を
奪い取る

日本の経済的利益は
ほとんどなく
ひたすら輸入拡大を
強いられる可能性

ISD条項で
裁判所の司法権
も侵害される

医療が
もうけの手段に
国民皆保険も
壊される



[詳細はこちら](#) ▶▶▶

JA宮城中央会

検索

TPPから食と暮らし・いのちを守るネットワーク宮城

JAグループ宮城

農家だけじゃない!

みんなの暮らしが危ない!!

脅かされる 食の安全・安心

残留農薬基準などが緩和され、表示義務が撤廃、安全な食べものを選べないことに…



農業の崩壊

～輸入依存による食糧危機～

関税撤廃によって安い外国産農産物が流入し、国内農業に大打撃を与えます。宮城県農業産出額の約6割にあたる770億円が減少します。(2013年4月・宮城県の試算)「食」を海外に依存しては、食料危機に対応できません。

医療費・医薬品の高額化 ～命の沙汰も金次第に!～

病院の営利企業化で医療費が高騰し、国民皆保険が崩壊。お金のない人は医療を受けられない社会になる懸念があります。

失われる雇用 広がる格差

全産業で約190万人の雇用が失われます。

(2013年5月「TPP参加交渉からの即時撤回を求める大学教員の会」の試算)



地方経済の崩壊

公共事業等への海外企業参入で、地元企業の仕事が減少します。



外国企業が国を提訴 ～日本の主権が脅かされる～

ISD条項で外国の企業が国を提訴できるようになります。

国民の安全を守るための規制を、自国で決められなくなる懸念があります。

**安全な食べものが選べず、雇用も奪われ、
お金持ちしか医療を受けられない。そんな社会は
まっぴらごめんです。**

**誰もが安心して暮らせる未来のために、
運動の輪を広げましょう!!**